

の1年 これまでとこれから

新型コロナウイルスの影響が今もなお続く中、形を変えたり新しいコンテンツを考え出したりしながら、時代のニーズに合ったプログラムを開始しました。JEEFの新たな挑戦を紹介します。

楽しい学びのチャンスを、すべての子どもたちに！

病気の治療のために長期

入院中、あるいは入退院を

くり返す子どもたちにとつ

て、継続した学びの機会を

得ることが困難です。特に

実験を始めとした体験的な

学習は、病院に持ち込める

備品が限られるなど実施が

難しいとされ、コロナ禍にお

いては外部講師を招くこと

もできず停滞しています。

そのような重い病氣と闘

う子どもたちに、ジャパン

GEMSセンターではオンラ

インで体験型のワークショップ

を提供していますが、当

日の体調や急な検査で参加

できない子が毎回いらつしや

います。そこで、GEMS

をベースとした無料の探究

動画の公開を始めました。

GEMSの実験は、身近

なものを使ってできるため、

いつでも・どこからでも体

験的な学びにアクセスする

ことができます。算数やア

ー、環境、自然科学や物理、

化学など幅広いジャンルのプ

ログラムがあるので、子ど

もたちが外の世界に興味を

もち、未来への楽しみが増

えるようなコンテンツを配

信していきます。

また、近年ではあまり入

院をせず自宅療養している

ケースも多く、そういった

子どもたちは同世代と遊ぶ

機会が減少しているという

声も聞きました。そこで、

単発のワークショップではな

く、毎月定期的に同じメン

バーで集まって遊ぶ「オンラ

インあそぼう会」を立ち上

げ、毎月1〜2回オンライ

ンで工作をしたり、ゲーム

をしたり、実験をしたりし

ながらわいわいおしゃべりし

ています。

さらに、なかなか外に出

かけられない子どもたちに

向けて自然のフィールドや

水族館などからバーチャル

遠足も実施。10月には清里

高原から平地よりも一足早



※この活動は、公益財団法人ベネッセこども基金の「重い病氣を抱える子どもたちの学び支援活動助成」を受けて実施しています。
<https://www.japangems.org/movie/>

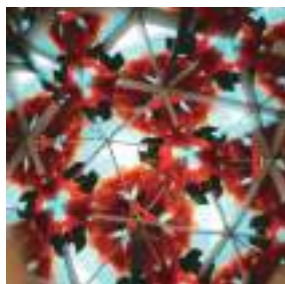


※この活動は、赤い羽根共同募金の「重症児等とその家族に対する支援活動助成」を受け、小児がん支援を行う認定NPO法人シャインオン・キッズと協働で実施しています。



い紅葉や、やまねミュージアムを巡るツアーを開催しました。

まだまだ小さな規模の企画ですが、オンラインでどこまでJEEFらしさ、GEMSらしさを表現できるか、ワクワクしながら新しいチャレンジに取り組んでいます！



<https://www.youtube.com/watch?v=UOKpFK1u13s&t=40s>

海洋プラスチック問題を体験的に学ぶ

私たちの生活の中でたくさん使われているプラスチックですが、分解されない特性のせいで、海を漂い続けます。JEEFとしてもこの問題についてアクションするため、アメリカの化学メーカーSCジョンソン社のサポートを受け、横浜市の子どもたちに向けて海洋プラスチック問題について体験的に学べるプログラムの提供を始めました。

海洋プラスチックをアップサイクルするジュエリーブランド「sobolon（そぼろん）」とコラボした「うみの万華鏡づくりワークショップ」では、海岸に漂着したプラスチックごみを万華鏡へアップサイクルすること、楽しみながら海洋プラスチック問題や海の問題について学んでいきます。

また、小学校への出前授業では、GEMSのプログラムをベースにしたオリジナルの体験学習プログラムを開発。出前授業を受けた子どもたちが、その後自主的に川清掃の活動を始め、学内で活動の輪が広がっているという嬉しい報告もありました。

東京ネイチャーアカデミー開催中

2013年から2019年まで7期開催し、その後コロナ禍で2年休校していた「東京シニア自然大学」を「東京ネイチャーアカデミー2022（略称TNA）」に名称を改め、新カリキュラムで9月から再スタートしました。東京には、実は自然と触れ合える場がたくさんあります。20名弱の仲間たちが、座学・フィールドワーク・オンラインを組み合わせて、四季折々の東京の自然と実際にふれあいながら、草木、野鳥、虫、水辺の生き物などについて楽しく学んでいます。2023年6月にそれぞれのアクションプランを発表することを目標に、10か月間体験を重視した学びの時間を過ごします。



日常で不安やストレスを抱える人たちが ”ほっとできる” 自然体験や環境教育の提供

2023年3月5日(日)
に開催される東京マラソン
2023。JEEFは寄付
先団体に選定され、チャリ
ティランナーの皆様からた
くさんのご寄付を頂きました。

頂いた寄付を活用して、
誰ひとり取り残さない環境
教育を目指して、身体的理
由や経済的・地域的な理由
などでプログラムに参加す
る機会のなかった方々と出
会える場を増やし始めまし
た。日常で不安やストレス
を抱える人たちが“ほっと
できる” 自然体験や環境
教育を提供していきます。

● 野鳥観察会

長く続いた「まん延防止
等重点措置」が3月に解除
されたことを受けて、5月
に横浜市上郷・森の家で小
学生・親子向け「手作り望
遠鏡で身近な野鳥を観察し
よう! バードウォッチング
入門講座」を開催しました。
外出を制限される時期が
長かったため久しぶりとなっ
た野外活動を目一杯満喫し
ながら、自分達で作成した
望遠鏡を手に野鳥観察を楽
しんでいました。



● 大雪山自然学校 キトウシこどもキャンプ

北海道のNPO法人大雪
山自然学校と共に、9月に
小学生を対象としたキャン
プを実施しました。

大人も子どもも関係な
く、それぞれ1人の人間と
して認めあい、協力して行
うことが出来たキャンプで
した。やつてみたい!という
気持ちに寄り添い、火起こ
しやまき割り、馬のお世話
などいろんなことに挑戦し、
たった3日間という短い時
間で子どもたちの成長を大
きく感じました。最終日、
子ども達は本当に良い表情
で帰っていきました。冬に
再度開催予定なので、また
会える日が楽しみです。

今後も、山梨・清里で
の「森deリトリート特別



編」や、こども食堂との連
携など、さらに活動の場を
広げて実施していきます。



2023年に向けて

2022年、JEEF設立30周
年を迎えました。

これからの30年、持続可能な未
来に向けて、皆さんと一緒に新しい
一歩を踏み出します。

文：吹留純子（JEEF職員）